

最終評価シート

最終評価（表紙）

岐阜市 歴史的風致維持向上計画(平成25年4月11日認定) 最終評価(平成25年度～令和4年度)

■ 統括シート(様式1).....	2
■ 方針別シート(様式2)	
I 歴史的資産の調査・保全・活用.....	3
II 伝統的活動の保存・継承.....	4
III 歴史的資産の情報発信.....	5
IV 歴史的資産の周辺環境整備.....	6
V 歴史的風致の周辺環境整備.....	7
■ 波及効果別シート(様式3)	
i 外国人観光客の増加.....	8
ii 歴史的資産の認知度の向上.....	9
iii 日本遺産の認定.....	10
■ 代表的な事業の質シート(様式4)	
A 史跡岐阜城跡発掘活用事業.....	11
B 岐阜公園再整備事業・岐阜公園三重塔修復整備事業.....	12
C 史跡岐阜城跡説明板整備事業.....	13
D ぎふ景観まちづくりファンド事業.....	14
■ 歴史的風致別シート(様式5)	
1 長良川鶺鴒と鶺鴒匠の家にまつわる歴史的風致.....	15
2 岐阜まつりと岐阜城下町にまつわる歴史的風致.....	16
3 岐阜提灯・岐阜うちわと川原町の町屋にまつわる歴史的風致.....	17
4 加納天神祭り・岐阜和傘と加納城下町にまつわる歴史的風致.....	18
5 手力の火祭りと手力雄神社にまつわる歴史的風致.....	19
6 小紅の渡しと鏡島弘法にまつわる歴史的風致.....	20
7 三輪祭りと三輪神社にまつわる歴史的風致.....	21
■ 庁内体制シート(様式6).....	22
■ 住民評価・協議会意見シート(様式7).....	23
■ 全体の課題・対応シート(様式8).....	24

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
① 歴史的風致			
	歴史的風致	対応する方針	
1	長良川鶯飼と鶯匠の家にまつわる歴史的風致	I, II, III, IV	
2	岐阜まつりと岐阜城下町にまつわる歴史的風致	I, II, III, IV, V	
3	岐阜提灯・岐阜うちわと川原町の町屋にまつわる歴史的風致	I, II, III, IV	
4	加納天神祭り・岐阜和傘と加納城下町にまつわる歴史的風致	I, II, IV	
5	手力の火祭りと手力雄神社にまつわる歴史的風致	I, II	
6	小紅の渡しと鏡島弘法にまつわる歴史的風致	I, II	
7	三輪祭りと三輪神社にまつわる歴史的風致	I, II	
② 歴史的風致の維持向上に関する方針			
	方針		
I	歴史的資産の調査・保全・活用		
II	伝統的活動の保存・継承		
III	歴史的資産の情報発信		
IV	歴史的資産の周辺環境整備		
V	歴史的風致の周辺環境整備		
③ 歴史まちづくりの波及効果			
	効果		
i	外国人観光客の増加		
ii	歴史的資産の認知度の向上		
iii	日本遺産の認定		
④ 代表的な事業			
	取り組み	事業の種別	
A	ぎふ景観まちづくりファンド事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
B	史跡岐阜城跡発掘活用事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
C	岐阜公園再整備事業・岐阜公園三重塔修復整備事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
D	史跡岐阜城跡説明板整備事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】地域においてのみ認識・継承されている歴史的資産の多くは、調査・価値付け・保護の措置が不十分である。また、歴史的なまちなみの重要な要素である、神社仏閣の老朽化や町家の滅失などが進行している。

【方針】指定等文化財については、継続して適切な保存・活用を実施し、未調査の歴史的資産については、調査を実施しその把握に努める。また、歴史的建造物の所有者に対し助成制度を周知し、維持管理費の負担を軽減することにより、歴史的建造物の保存に努める。また、信長公居館跡などを有する岐阜公園について、歴史的価値を活かした本格的な歴史公園として再整備に努める。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	岐阜公園再整備事業	遊具広場の整備、池の改修等を実施	あり	H21～
2	岐阜公園三重塔修復整備事業	半解体修理により、建築当初の姿に復原	あり	H25～H28
3	ぎふ景観まちづくりファンド事業等	167件の修理・修景補助(H10～R3)	あり	H10～
4	長良川中流域の文化的景観保存調査事業	平成26年3月に国の重要文化的景観に選定	あり	H19～
5	市史編さん事業	近現代の資料を収集し、市史を刊行・配布	あり	H24～H30

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●岐阜公園再整備事業

公園が持つ史跡岐阜城跡などの歴史的価値を活用した遊具広場や歴史ある池の修景など、歴史公園にふさわしい整備を実施した。

●岐阜公園三重塔修復整備事業

国登録有形文化財の三重塔について、建築当初の姿に復原し、本市の近代を物語る歴史的風致形成建造物の保全を図ることができた。また、塔内部の見学会を実施し、歴史的建造物の魅力の普及啓発を推進した。

●ぎふ景観まちづくりファンド事業等

地域の個性ある景観を形成する重要な核として、景観法に基づく景観重要建造物を20件、市の独自制度である都市景観重要建築物を8件指定している。その周辺の建造物も含め、所有者が行う保全及び修景等の工事費について、これまでに167件の助成を行い、歴史的な街なみの景観保全を推進した。

●長良川中流域の文化的景観保存調査事業

金華山・長良川周辺における伝統的な建造物や技術の調査を実施し、現在の景観が、地域住民の営みにより形成され継承されてきたという価値付けができたことにより、平成26年3月に国の重要文化的景観として選定を受けた。

●市史編さん事業

昭和50年から現代までの本市の歩みを記録する新たな岐阜市史を刊行及び配布し、本市の近現代史の普及啓発を進めることができた。



岐阜公園三重塔
(建築当初の姿に復原)

④ 自己評価

岐阜公園のランドマークである三重塔修復整備、街なみを形成する歴史的建造物の保全及び周辺建造物の修景に対する支援により、金華山・長良川周辺の景観の向上を推進することができた。

市史の編さんにより、本市の近現代史の把握を推進し、また広く配布することにより、その価値の普及啓発を図ることができた。



岐阜市史

⑤ 今後の対応

岐阜公園再整備については、織田信長公居館跡の発掘調査成果をまとめ、来園者が「信長公のおもてなし」や戦国時代の雰囲気を感じることができる整備を検討する。

歴史的建造物の保全については、景観重要建造物の保全に対する支援を継続し、歴史的なまちなみの維持及び向上を図る。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年																														
方針	Ⅱ 伝統的活動の保存・継承	今後の対応	継続展開																														
<p>① 課題と方針の概要</p> <p>【課題】1300年以上の歴史を誇る長良川鵜飼、岐阜まつり等の伝統行事、岐阜提灯・岐阜うちわ・岐阜和傘等の伝統産業において、職人離れや地域のコミュニティの希薄化による後継者不足により、技術や文化の継承が危ぶまれている。</p> <p>【方針】鵜飼、伝統行事、伝統産業に関連する技術や活動について、調査・記録保存を進めるとともに、PR活動や後継者を育成するプログラムを実施するなど、人員確保や技術継承が持続される環境を構築する。</p>																																	
<p>② 事業・取り組みの進捗</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>推移</th> <th>計画への位置付け</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>鵜飼観覧船等の運航事業</td> <td>鵜飼観覧船等の運航により操船技術を継承</td> <td>あり</td> <td>S2～</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>長良川まつり補助事業</td> <td>提灯船の運航等に毎年助成</td> <td>あり</td> <td>S58～</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業</td> <td>岐阜提灯協同組合が実施する事業に毎年助成</td> <td>あり</td> <td>H10～</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>文化財の調査・指定</td> <td>祭りや習俗に関する技術・活動を10件指定（S52～R3）</td> <td>なし</td> <td>S52～</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	推移	計画への位置付け	年度	1	鵜飼観覧船等の運航事業	鵜飼観覧船等の運航により操船技術を継承	あり	S2～	2	長良川まつり補助事業	提灯船の運航等に毎年助成	あり	S58～	3	伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業	岐阜提灯協同組合が実施する事業に毎年助成	あり	H10～	4	文化財の調査・指定	祭りや習俗に関する技術・活動を10件指定（S52～R3）	なし	S52～	5				
	項目	推移	計画への位置付け	年度																													
1	鵜飼観覧船等の運航事業	鵜飼観覧船等の運航により操船技術を継承	あり	S2～																													
2	長良川まつり補助事業	提灯船の運航等に毎年助成	あり	S58～																													
3	伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業	岐阜提灯協同組合が実施する事業に毎年助成	あり	H10～																													
4	文化財の調査・指定	祭りや習俗に関する技術・活動を10件指定（S52～R3）	なし	S52～																													
5																																	
<p>③ 課題解決・方針達成の経緯と成果</p> <p>●鵜飼観覧船等の運航事業 昭和2年より市が直営で実施している鵜飼観覧船の運航について、船頭の人員確保のため、広報誌やハローワーク、HPやネット媒体を活用し採用活動を実施。経験者が新人船頭に指導を行うなど、伝統ある操船技術の継承を推進した。</p> <p>●長良川まつり補助事業 長良川での航行や川で遊ぶ人たちの風水害からの安全を祈念するため、地域住民が提灯で装飾された船の運航等を行う「長良川まつり」（毎年7月16日開催）に対し助成し、地域の伝統行事の継承を図った。</p> <p>●伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業 岐阜提灯協同組合が実施する、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」の認定を受けた振興計画に基づく後継者育成事業（組合員を対象とした伝統的技法（摺り込み及び張り）の技術研修）等に対し助成し、伝統的工芸品の技術継承を推進した。</p> <p>●文化財の調査・指定等 鵜飼における鵜舟の造船技術、観覧船の造船及び操船技術、鵜匠家に伝承する鮎鮓製造技術、鵜匠装束の製作技術、また伊奈波神社の祭りに伴う岐阜まつり行事等の調査・記録、さらに文化財指定を進め、地域住民の生業や伝統行事の保護の措置を講じた。</p>																																	
																																	
		<p>鵜舟造船技術の継承</p>																															
																																	
		<p>長良川まつりの提灯船</p>																															
<p>④ 自己評価</p> <p>長良川まつりや岐阜提灯などの伝統行事や伝統産業については、地域住民や関係団体が実施する事業に対し助成し、後継者育成等に寄与した。</p> <p>鵜飼や祭りに関連する技術等の調査・記録保存を行い、文化財に指定されたことで、次の世代への継承を推進することができた。</p>																																	
<p>⑤ 今後の対応</p> <p>鵜飼に関連する技術については、今後も調査・記録保存を継続して実施し、保存・活用を推進する。長良川まつりや岐阜提灯については、引き続き地域住民や関係団体が実施する事業に対する助成を継続し、技術や文化の継承に努める。</p>																																	

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年																														
方針	Ⅲ 歴史的資産の情報発信	今後の対応	継続展開																														
<p>① 課題と方針の概要</p> <p>【課題】歴史的資産の情報発信については、画一的な広報や歴史博物館における総合的な展示、さらに文化財説明板の老朽化等により十分であるとは言い難い状況であり、歴史的資産の認知度や保全意識の向上のため、効果的な方法による情報発信が求められる。</p> <p>【方針】公式ホームページ等の活用、パンフレットの配布、わかりやすい説明板の設置などにより、積極的に情報発信する。また鶺鴒に特化した情報発信拠点「長良川うかいミュージアム」において、様々な展示等により、鶺鴒の魅力の普及啓発を図る。</p>																																	
<p>② 事業・取り組みの進捗</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>推移</th> <th>計画への位置付け</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>史跡岐阜城跡発掘活用事業</td> <td>発掘調査の作業を常時公開</td> <td>あり</td> <td>H19～</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「信長学」推進プロジェクト</td> <td>信長学フォーラム、信長塾を開催</td> <td>あり</td> <td>H21～</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>史跡岐阜城跡説明板整備事業</td> <td>延べ38枚の説明板を設置・更新</td> <td>あり</td> <td>H25～</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>岐阜市長良川鶺鴒伝承館(長良川うかいミュージアム)事業</td> <td>様々な展示により鶺鴒の魅力を発信</td> <td>あり</td> <td>H24～</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ふるさと大好き鶺鴒事業</td> <td>市内の小学生の鶺鴒観覧に助成</td> <td>あり</td> <td>H13～</td> </tr> </tbody> </table>					項目	推移	計画への位置付け	年度	1	史跡岐阜城跡発掘活用事業	発掘調査の作業を常時公開	あり	H19～	2	「信長学」推進プロジェクト	信長学フォーラム、信長塾を開催	あり	H21～	3	史跡岐阜城跡説明板整備事業	延べ38枚の説明板を設置・更新	あり	H25～	4	岐阜市長良川鶺鴒伝承館(長良川うかいミュージアム)事業	様々な展示により鶺鴒の魅力を発信	あり	H24～	5	ふるさと大好き鶺鴒事業	市内の小学生の鶺鴒観覧に助成	あり	H13～
	項目	推移	計画への位置付け	年度																													
1	史跡岐阜城跡発掘活用事業	発掘調査の作業を常時公開	あり	H19～																													
2	「信長学」推進プロジェクト	信長学フォーラム、信長塾を開催	あり	H21～																													
3	史跡岐阜城跡説明板整備事業	延べ38枚の説明板を設置・更新	あり	H25～																													
4	岐阜市長良川鶺鴒伝承館(長良川うかいミュージアム)事業	様々な展示により鶺鴒の魅力を発信	あり	H24～																													
5	ふるさと大好き鶺鴒事業	市内の小学生の鶺鴒観覧に助成	あり	H13～																													
<p>③ 課題解決・方針達成の経緯と成果</p> <p>●史跡岐阜城跡発掘活用事業 発掘調査の成果を、市公式ホームページや各種SNSにより広く情報発信した。また現地においては、発掘調査作業の常時公開や説明会の開催（合計8,765人参加）、発掘調査案内所での出土遺物や居館の復原CGの展示などにより、来訪者に史跡岐阜城跡の価値をPRすることができた。</p> <p>●信長学推進プロジェクト 平成20年度から「信長学フォーラム」、平成21年度から歴史講座「信長塾」を毎年度開催し（延べ15,764人参加）、戦国時代の魅力の普及啓発を推進することができた。</p> <p>●史跡岐阜城跡説明板整備事業 平成25年度に策定した「史跡岐阜城跡サイン計画」に基づき、説明板の設置及び多言語化（延べ38枚）を実施し、史跡岐阜城跡の歴史的価値の普及を図り、さらに史跡内に乱立する案内板の整理により、景観の向上に寄与した。</p> <p>●岐阜市長良川鶺鴒伝承館(長良川うかいミュージアム)事業 鶺鴒に特化した様々な展示や空間演出に加え、市民講座の開催や鶺鴒匠による鶺鴒の実演等により、鶺鴒の魅力の普及啓発を図った。</p> <p>●ふるさと大好き鶺鴒事業 毎年、全ての市立小学校（主に5年生）を対象に鶺鴒観覧料を助成し、地域の歴史的資産の価値の普及啓発に努めた。</p>																																	
																																	
		<p>信長学フォーラム</p>																															
																																	
		<p>長良川うかいミュージアム (鶺鴒の実演)</p>																															
<p>④ 自己評価</p> <p>史跡岐阜城跡については、発掘調査現場の常時公開、案内所の開設、歴史講座などの開催により、広くその価値を周知し、本市の戦国時代の魅力及び価値をPRすることができた。</p> <p>鶺鴒については、観覧船運航事業の推進に加え、うかいミュージアムでの展示や鶺鴒匠による鶺鴒の実演等様々なプログラムの実施により、その魅力の普及を図ることができた。</p>																																	
<p>⑤ 今後の対応</p> <p>公式ホームページや各種SNSを活用し、本市の歴史的資産の価値や魅力を効果的・効率的に発信する。うかいミュージアムについては、現在実施している、JR・旅行会社・周辺旅館等と連携したキャンペーン等によりオフシーズンの集客、リピーターの確保を図る。</p>																																	

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
方針	IV 歴史的資産の周辺環境整備	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】歴史的資産の回遊に必要不可欠な道路について、来訪者が、安全かつ快適に本市の歴史的資産の魅力に触れることができる空間を確保する必要がある。

【方針】歴史的風致を構成している歴史的資産とその周辺とが一体となった空間を形成することを念頭に置き、街路整備や歩道設置、電線類の地中化等、歩行者の安全性を確保した形での修景整備を行う。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	無電柱化推進事業	延長620mを無電柱化	あり	H22～25
2	道路整備事業(電線共同溝整備、道路修景整備)	延長668mを無電柱化及び修景整備	あり	H20～27
3	ゆとり・やすらぎ道空間事業	延長3,640mを修景整備	あり	H21～28
4				
5				

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●無電柱化推進事業

岐阜公園総合案内所の東側及び岐阜市歴史博物館の南側の市道(延長620m)において、電線共同溝敷設による無電柱化工事を実施し、思わず歩きたくなる良好な景観を創出することができた。



道路整備事業

(電線共同溝敷設、無電柱化、歩行者・自動車道の整備)

●道路整備事業

岐阜公園の西側に隣接する市道において、自動車と歩行者・自転車が輻輳していたことから、延長668m分について、電線共同溝敷設による無電柱化工事、歩行者・自転車道の整備及び地道風舗装等の修景整備を実施し、安全かつ周囲の城下町と調和した空間を創出することができた。



ゆとり・やすらぎ道空間事業
(地道風舗装)

●ゆとり・やすらぎ道空間事業

旧岐阜城下町の市道(総延長3,640m)において、周囲の歴史的景観に配慮した歩道整備、地道風舗装、石張舗装、歴史的モニュメントの設置などを実施し、楽しくまちなかを散策できる、にぎわいや回遊性のある道路空間を創出することができた。

④ 自己評価

旧岐阜城下町の歴史的な景観に配慮した道路の無電柱化工事及び修景整備により、市民や来訪者が安全かつ快適に本市の歴史的資産の魅力に触れることができる空間を創出することができた。その結果、市民意識調査により約6割の人から「まちなみや景観が美しい」との評価を得ることができた。

⑤ 今後の対応

引き続き、無電柱化を進めるとともに、今まで整備を進めてきた道路環境を適正に維持管理し、来訪者が、安全かつ快適に本市の歴史的資産の魅力に触れることができる空間の確保に努める。また、水辺環境整備など、新たな周辺環境整備に取り組む。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
方針	V 歴史的風致の周辺環境整備	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】将来にわたり歴史的風致の維持向上を図るため、それぞれの歴史的風致地区内の整備だけでなく、周辺地区についても、歴史的風致を補完するような環境整備を行う必要がある。
 【方針】歴史的風致の周辺については、歴史的風致が形成されている環境の歴史及び文化的価値を補完し、高め、認識できるように、今後、環境整備のあり方を検討していく。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	御鯰街道修景整備事業	延長3,010mを修景整備	一部あり	H20～29
2	歴史的風致活用国際観光支援事業	岐阜市観光案内所リニューアル整備	あり	H27～28
		金華山頂駅東トイレ改築工事	あり	H28～29
		御鯰街道に多言語の路面標示を48枚貼付	あり	H30
		多言語のマップを15,000部作成	あり	R1

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●御鯰街道修景整備事業

御鯰街道は、江戸時代に「鮎鮎」を将軍家に献上するための運搬に利用した街道である。この街道の延長3,010mについて、地道風舗装、石張舗装、街路灯の整備、電柱のカラー化等を実施し、歴史的な街道にふさわしい修景整備を行うことができた。

●歴史的風致活用国際観光支援事業

本市の玄関口であるJR岐阜駅構内の観光案内所について、岐阜城や長良川の鶺鴒等の歴史的資産をPRするデジタルサイネージ、外国人観光客にもわかりやすいインフォメーションマーク、4か国語（英・中（簡体、繁体）、韓）の立て看板等の設置、また英語で対応できるスタッフの配置などの整備を行い、増加傾向にある外国人観光客に対応できるような受入環境を整えた。

国史跡岐阜城跡の範囲内の金華山山頂におけるトイレについては、「“また訪れたくなる観光トイレ”～日本一見晴らしの良い公衆トイレ～」をコンセプトに、洋式化に伴い、外観に本市の歴史や文化を表現した意匠を取り入れるなど、景観に配慮した改築工事を行うことができた。

岐阜駅から重点区域までの区間の御鯰街道において、多言語表記（日・英・中（簡体））による路面標示48枚を設置し、また本市の歴史的資産をPRする多言語化（英語10,000部、中国語（簡体）5,000部）マップを作成するなど、外国人観光客を含めた様々な来訪者のまちなか歩きをサポートする環境を整えることができた。



御鯰街道の修景整備



岐阜市観光案内所



観光案内所の利用者数

④ 自己評価

御鯰街道の整備により、金華山周辺及び加納地区の歴史的風致と岐阜駅をつなぐ動線について、歴史的な雰囲気を感じることができる空間を創出することができた。また、近年増加傾向にある外国人観光客に対し、国際観光支援事業の活用により、効率的に外国人観光客の受け入れ環境整備を推進することができた。

⑤ 今後の対応

外国人観光客を含めた来訪者が快適に本市の歴史的風致を回遊できるよう、観光案内所や案内・誘導看板等の整備・保全に努める。また、御鯰街道等の歴史的風致をつなぐ役割を持つ道路空間については、引き続き適正に維持管理を行う。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
効果	i 外国人観光客の増加		

① 効果の概要

外国人観光客（宿泊者数）が増加

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略	なし	H27～31
2	歴史的風致活用国際観光支援事業	あり	H27～31

フェイスブックをはじめとする各種SNSを活用した情報発信、海外における一般市民向け観光展でのPRや現地旅行会社へのセールスコールなどを実施し、海外に対する認知度向上や誘客促進を図った。また、歴史的風致活用国際観光支援事業による観光案内所のリニューアルや観光トイレの改築のほか、多言語による観光パンフレット・ホームページ等の作成、公衆無線LANサービスの提供など、受入環境の充実を推進する。

③ 効果発現の経緯と成果

● PR事業

観光情報を提供するホームページは8言語で作成し、YouTubeで英語版観光案内動画を公開した。また、東アジア、東南アジアのターゲット国に対し各種SNSを活用したPR事業を行うことで本市の情報を広く発信した。

海外での誘客促進活動については、経済成長が著しく、訪日旅行者が増えている東南アジアにおいて、観光展への参加やセールスコールを実施した。

● 受入環境整備

観光パンフレットは4言語で作成し配布した。また国際観光支援事業の活用により、JR岐阜駅構内の観光案内所のリニューアル及び金華山山頂における観光トイレの改築（洋式化）を実施した。

このほか、岐阜公園・岐阜城・鶺鴒観覧船事務所等において公衆無線LANを整備し、また鶺鴒においては、観覧料のカード決済など、外国人観光客が安心・快適に本市の歴史的資産を楽しむことができる環境を整えた。

また、外国人観光客受入環境整備を行う事業者へ岐阜市外国人観光客受入環境整備支援事業補助金として、多言語化対応・無料公衆無線LAN設置・施設内トイレ整備・クレジットカード、電子マネー決済対応などを対象に経費の一部を補助した。また岐阜市海外プロモーション等支援事業補助金として、外国人観光客を誘致するためのプロモーション等を行う事業を対象に経費の一部を補助した。

◎ 成果

外国人観光客数（長良川温泉における宿泊者）は、年々増加しており、歴史的風致維持向上計画の認定を受けた平成25年とコロナ感染が本格化する前の令和元年度を比較すると、約2.5倍に増加した。令和2～4年度の外国人観光客数は新型コロナウイルスの影響により激減したものの、各種SNSでのPR事業や受入環境整備事業を継続することによりコロナ禍終焉後のインバウンド需要に備えている。



外国人観光客の長良川温泉宿泊者数



多言語対応の観光パンフレット



多言語化対応の観光HP
「岐阜市漫遊」

④ 自己評価

受入環境の充実や海外での誘客促進活動により、コロナ禍以前は外国人観光客は増加傾向にあった。今後、コロナ禍終焉によるインバウンド回復により急激に増加・多様化すると予想される外国人観光客のニーズに応えられるよう、更なる受入環境の充実が必要と考えられる。

⑤ 今後の対応

引き続き、誘客活動や情報発信により、本市への観光客の増加を促進するよう努める。また、宿泊施設や観光集客施設等における外国人観光客受入環境整備を行う事業者への支援を継続し、安心かつ快適に本市の歴史的資産を楽しんでいただけるような受入環境の充実を図る。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
効果	ii 歴史的資産の認知度の向上		

① 効果の概要

史跡岐阜城跡への来訪者が増加

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	史跡岐阜城跡保存管理計画	あり	H24～
2	「信長学」推進プロジェクト	あり	H21～
3			

織田信長公居館跡及び史跡岐阜城跡の価値を広くPRするため、発掘調査において現地説明会を実施し、また発掘調査案内所で、調査での出土品の他、居館のCG映像を展示している。また、本市の戦国時代の歴史に特化したイベント「信長学フォーラム」「信長塾」を開催している。

③ 効果発現の経緯と成果

● 史跡岐阜城跡の調査成果

金華山の山麓及び山頂において、史跡岐阜城跡の発掘調査を平成19年度より実施している。山麓の信長公居館跡では、信長公が賓客に見せたと考えられる庭園や居館の屋根を装飾していた金箔瓦等を確認することができ、冷徹なイメージの強い信長公について、新たな人物像を描くことができ、日本遺産『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』の認定につながった。



調査成果による
信長公居館のイメージ

● 調査成果のPR

信長公居館跡での調査成果及び山頂の岐阜城天守周辺で確認した、斎藤道三公や信長公の時代の石垣等について、市の公式ホームページやTwitterにより広く情報発信し、認知度の向上を図った。



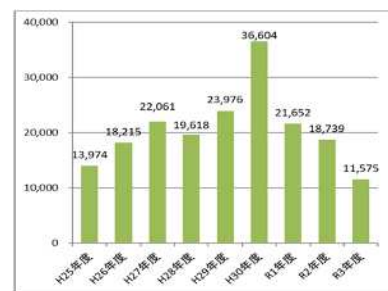
信長塾の様子

● 戦国時代に特化したイベント

著名人の講演やパネルディスカッションを行う「信長学フォーラム」、研究者による専門的な歴史講座「信長塾」、クイズ形式のウォーキングイベント等を継続して開催し、本市が道三公や信長公などの戦国武将にゆかりが深いまちであることを普及啓発した。

◎ 成果

以上のような取組により、史跡に隣接する発掘調査案内所への来訪者は、認定を受けた平成25年度とコロナ感染が本格化する前の令和元年度を比較すると、約2.6倍に増加した。



発掘調査案内所来訪者数

④ 自己評価

調査成果の普及やイベントの実施に加え、日本遺産の認定という外部からの評価等により、本市の歴史的資産を効果的にPRし、史跡への来訪者が増加した。

一方で、継続的に実施するイベントについては、内容の充実が求められる。

⑤ 今後の対応

引き続き、本市の歴史的資産の魅力をもっとPRするため、史跡岐阜城跡の発掘調査成果の情報発信、イベント等の企画・開催を実施する。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年																
効果	iii 日本遺産の認定																		
① 効果の概要 平成27年に『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』が日本遺産に認定																			
② 関連する取り組み・計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他の計画・制度</th> <th>連携の位置づけ</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>史跡岐阜城跡保存管理計画</td> <td>あり</td> <td>H24～</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「信長学」推進プロジェクト</td> <td>あり</td> <td>H21～</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					他の計画・制度	連携の位置づけ	年度	1	史跡岐阜城跡保存管理計画	あり	H24～	2	「信長学」推進プロジェクト	あり	H21～	3			
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度																
1	史跡岐阜城跡保存管理計画	あり	H24～																
2	「信長学」推進プロジェクト	あり	H21～																
3																			
本市の歴史的資産を物語るストーリー『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』が、平成27年4月に文化庁に認定されたことを受け、地域で活動する団体等により『日本遺産「信長公のおもてなし」岐阜市推進協議会』を設立し、情報発信、ブランド化、人材育成などの取組を実施した。																			
③ 効果発現の経緯と成果 <ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信 日本遺産を構成する歴史的資産やイベント情報を掲載した専用ホームページを開設し、また人気アニメ「紙兎ロペ」とコラボしたPR動画を本市公式YouTubeへ掲載した。さらに、観光誘客用特別冊子「まっふる岐阜市」、多言語（日本語・英語）のパンフレット、歴史読本「岐阜・信長 歴史読本」、日本遺産PRペーパーランチョンマットの作成・配布し、認定ストーリーの普及啓発を図った。 ● 日本遺産サミットの開催 平成28年7月1日に「日本遺産サミットin岐阜」を開催し、本市の歴史的資産の魅力をPRするとともに、歴史的資産を活用したまちづくりについて情報共有できた（参加者1,200人）。 ● 調査成果の活用 史跡岐阜城跡の発掘調査成果をもとにヴァーチャル・リアリティ映像を作成し、利用者に戦国時代の臨場感を体感できる環境を整えた。 ● ガイド育成・イベント等の実施 日本遺産に関連した内容を案内するガイド研修を行った。またモニターツアーとして、戦国時代の歴史ドラマを迫体験できるまち歩きプログラム「美濃国 戦国ドラまちEXPO」を開催し、「タイムトラベル悲劇の道三・光秀コース」など、合計46のコースに、計403人の参加（※オンラインツアー含む）があった。ツアーでは「戦国案内人」と称するガイド（延べ70人）が案内を行い、参加者に日本遺産等をPRした。 ● 民間の取り組み 地元の岐阜長良川温泉旅館協同組合が、信長公がおもてなしのために振る舞った料理を再現し、宿泊者等に提供している。 <p>◎ 成果 様々な情報発信、イベント開催により、日本遺産のまちとしての認知度は着実に向上している。日本遺産のガイド登録は41人となった。</p>																			
		 <p>日本遺産サミットin岐阜 (H28.7.1)</p>																	
		 <p>作成した印刷物</p>																	
		 <p>「美濃国 戦国ドラまちEXPO」の様子</p>																	
④ 自己評価 日本遺産の認定を受け、情報発信、ブランド化などの事業を展開することができ、本市の認知度向上、来訪者の増加に繋げることができた。																			
⑤ 今後の対応 日本遺産を活用した事業を推進し、全国的な認知度の向上及び来訪者の増加を図る。																			

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
取り組み	A 史跡岐阜城跡発掘活用事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>史跡岐阜城跡の山麓部（織田信長公居館跡）、山林部及び山上部において、発掘調査、石垣の分布調査を実施した。</p> <p>山麓の発掘調査は平成29年度まで実施し、30年度に報告書を作成した。石垣の分布調査は、令和4年度までに合計88か所で確認した。山上部の発掘調査は平成30年度から開始し、各所で戦国時代の石垣等が見つかっている。また、発掘調査の様子や調査成果等を一般に公開し、令和元年度には調査成果を紹介するTwitterを開設した。令和2年度から4年度にはオンライン形式での報告会を行った。</p> <p>令和元年度から実施している、信長公居館跡における庭園整備事前調査としての滝の再現実験については、新聞等に取り上げられ、多くの見学者が訪れた。また、期間限定で、夜間のライトアップも実施した。</p> <p>山麓部ではVR映像を見ることが出来るタブレットの貸出を行い、来訪者に山麓居館の臨場感を楽しんでいただいた。また、これまでの調査で見つかった石垣マップを作成したことで、石垣を巡りながら戦国時代の岐阜城の姿を体感してもらうことが出来た。また、落石の危険性がある石垣や岩盤に落石防護網を設置し、来訪者の安全確保に取り組んだ。</p> <p>【現場説明会の参加者数】 〔山麓部〕 2,670人（平成25～29年度） 〔山林部〕 320人（平成30年度） 〔山上部〕 4,300人（平成30年度～令和4年度） ※令和3,4年度は公開のみのためカウントなし。</p> <p>【Twitterフォロワー数】 749フォロワー（令和5年1月31日 現在）</p>		 <p>天守台南西隅石垣 （令和4年度確認）</p>  <p>オンライン報告会</p>	
<p>② 自己評価</p> <p>山麓居館の発掘調査では庭園跡や建物の屋根を装飾した金箔瓦等が見つかり、山麓部全体が迎賓館としての機能を有していたことが判明した。山上部は観光施設として整備されているが、発掘調査の結果、遺構や遺物が良好に残されており、斎藤道三によって整備された一ノ門や、信長が行った天守や二ノ門周辺の大改修、その後の池田輝政による天守東側改修の痕跡等、16世紀の城郭遺構が重層していることが判明した。信長によって新たな要素が取り入れられた、中世から近世への転換点に位置する城郭という従来の評価だけでなく、16世紀の守護や戦国大名クラスの山城の変遷や構造を考える上で重要な城郭であることが明らかになってきた。</p>			
外部有識者名	高木 洋（日本考古学協会員）		
外部評価実施日	令和5年2月8日		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>山麓部の発掘調査においては、戦国武将の居館の構成要素である石垣その他の遺構を検出し、当時の大略の土地利用の状況を明らかにした。また宣教師の記述と合致すると思われる複数の庭園跡の発見により、外来者の接待にも用いる迎賓館的施設という考えに根拠を与えた。山上部においては、天主・二ノ門など信長期の他、その前後の時期の遺構の確認によって、16世紀の山城の変遷過程の解明に重要な手がかりを得た。</p> <p>このように、新たな発見が続く発掘調査を、安全対策を講じつつ市民・観光客に公開しながら進める手法は、今後の史跡の保存活用のための調査の一つの先進的なモデルとなると考えられる。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>今後も、『史跡岐阜城跡整備基本計画』に基づき、調査を計画的に実施し、同時に現場の公開や情報発信に努める。あわせて石垣等の安全対策等について、保護網の設置や樹木管理などの整備事業を推進する。</p> <p>史跡の整備により、石垣等の本物の遺構の魅力が顕在化することで、岐阜城をはじめとした歴史遺産を大切に継承していこうという機運を高めていく。</p>			

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
取り組み	B 岐阜公園再整備事業・岐阜公園三重塔修復整備事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>史跡岐阜城跡に指定されている金華山山麓に位置する岐阜公園は、戦国時代に斎藤道三や織田信長公が居館を構え、また明治15年の公園開設以降は、時代の要請に応じ、本市の文化・教育・産業などの情報発信拠点としての役割を担ってきた公園である。その重層的な歴史的価値を鑑み、来訪者が戦国時代を中心とした歴史を感じる事ができる公園として再整備を進めている。</p> <p>【事業内容】</p> <p>平成25～28年度：三重塔修復整備 一部の柱を除き半解体し、極力元の部材を使用しつつ補強を施しながら組み立て、建立当初の姿に復原した。</p> <p>平成28～29年度：遊具広場整備 戦国時代をイメージした意匠を取り入れた遊具広場を整備した。名称の「ちびっこ天下広場」は一般公募により決定した。</p> <p>平成30年度：御手洗池改修再整備 池全体の改修を行うとともに、豊かな自然環境を活かした憩いの空間に整備した。</p> <p>令和元年～2年度：トイレ改修 老朽化したトイレをバリアフリー化するとともに、町家をイメージしたデザインに改修した。</p> <p>令和2～3年度：せせらぎ緑道整備 駐車場と公園を結ぶ園路について、隣接する歴史のある用水路の景観を活かした歩道の整備を行った。</p> <p>令和4年度：花木広場再整備 豊かな自然の魅力を活かした憩いの空間、軽スポーツなどが楽しめる広場などの整備を行った。</p>			
			三重塔修復整備
			御手洗池再整備
<p>② 自己評価</p> <p>三重塔の修復整備は、「長良橋の古材の利用」及び「懸垂式心柱構法」という特徴を継承しながら、建立当初の姿に復原をすることができ、岐阜公園のランドマークとしての美しい姿を後世に継承できる整備を行うことができた。また工事完成後、毎年度春と秋に塔内部の特別公開を行い、これまでに約8,700人が参加しており、三重塔が持つ文化財としての価値を積極的に発信することができた。</p> <p>御手洗池再整備では、戦国時代の歴史的伝承に相応しい空間となるよう、金華山の迫力ある岩盤と池の水を活かした修景を行うことで新たな魅力の創出と歴史的風致の向上を図ることができた。</p> <p>せせらぎ緑道の整備では、園路に隣接する忠節用水路（長良川の治水の歴史を継承している水路）の景観などを活かして、来園者が快適に利用できる歩行空間を整備することができた。</p> <p>花木広場再整備では、長良川や金華山の眺望が楽しめるデッキや、ペタンク等が楽しめる多目的広場など、憩い・安らぎ・心地よく過ごすことができる空間を整備することができた。</p>			
外部有識者名	丸山 宏(名城大学 名誉教授)		
外部評価実施日	令和5年2月8日		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>計画された各事業はほぼ当初の計画通り完了していることを確認した。</p> <p>ただ、植栽の管理については各事業計画完了後も継続されることを強調したい。</p> <p>半枯れ状態あるいは枯損している高木が散見される。安全性の上で伐倒するなど適切に処理する必要がある。また、樹木にツタが茂り樹勢を低下させている。定期的なツタ切りの実施が求められる。低木類の繁茂は見通しを悪くし、セキュリティの点からも留意する必要がある。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>引き続き、全国に誇る歴史資産、観光資源としての魅力を高めるため、岐阜公園が持つ歴史的価値と金華山・長良川の自然環境を活かした本格的な歴史公園を目指し再整備を進める。</p> <p>植栽管理については、枯損している高木の伐倒や定期的なツタ切りのほか、低木の剪定による見通しの確保など、景観の向上と公園利用者の安全を確保するため、適切な植栽の維持管理に努める。</p>			

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
取り組み	C 史跡岐阜城跡説明板整備事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>史跡岐阜城跡整備委員会において、史跡のサイン整備のありかた、説明板の位置、内容、意匠等について検討を行い、平成25年度に「史跡岐阜城跡サイン計画」を策定した。</p> <p>整備は、サイン計画に基づき実施した。多様な来訪者に史跡の価値をわかりやすく伝えるため、地図、写真、多言語等を用いた板面を作成した。</p> <p>【設置数】</p> <p>平成25年度：4枚（山頂部 4枚） 平成26年度：5枚（山頂部 4枚、山麓部 1枚） 平成27年度：2枚（山頂部 2枚） 平成28年度：6枚（山麓部 6枚） 平成29年度：4枚（山頂部 4枚） 平成30年度：13枚（山頂部 11枚、山麓部 2枚） 令和元年度：3枚（山頂部 3枚） 令和2年度：1枚（山頂部 1枚） 令和3年度：0枚 令和4年度：1枚（山麓部 1枚）</p>			
		 <p>案内・誘導看板</p>	
		 <p>調査成果に基づいた解説板</p>	
<p>② 自己評価</p> <p>「史跡岐阜城跡サイン計画」、「史跡岐阜城跡整備基本計画」により、配置場所、表示する内容や量、板面の仕様など、具体的な事項を明確にし、計画的かつ統一的なサイン整備を進めることができた。</p> <p>サインの板面については、史跡岐阜城跡の価値を解説する部分に加え、案内・誘導、危険事項、マナー啓発等の情報を盛り込むことで、乱立しているサインの数を減らし、史跡の景観の向上、歴史的風致の向上に寄与することができた。また、英語、中国語、韓国語を併記し、外国人観光客の来訪促進を図った。</p>			
外部有識者名	三浦 彩子(名城大学理工学部建築学科 准教授)		
外部評価実施日	令和5年2月16日		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>エリアの全体にわたって網羅的に整理され、また個々の案内板の記載内容についても、統一したデザインへの更新、複数の言語の併記により、利便性は格段に向上しており、適切に改善されていると評価できる。なお今後、下記の点での改善が図られると、より一層の利便性向上につながるものと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山頂ロープウェイ駅周辺で、帰り客の滞留および、到着客との混雑が見られる。登り口、降り口の指示看板を設置して動線を明確化することにより、混雑が解消されるのではないかと考える。 ・山頂全体の中での自分の現在位置がわかりにくい。目的地(岐阜城)までの残り時間や距離があると良い。ロープウェイを下車してすぐに岐阜城に行けると思っている人が多いようで、「あとどのくらいかかるのか?」「まだ着かないのか?」といった不安の声がよく聞かれる。 			
<p>④ 今後の対応</p> <p>引き続き、『史跡岐阜城跡サイン計画』及び『史跡岐阜城跡整備基本計画』に基づき、計画的に整備を推進するとともに、来訪者に史跡岐阜城跡の歴史的価値をわかりやすく伝える説明板になるよう、随時内容を更新していく。</p> <p>また来訪者が安心・安全に史跡内を回遊できるよう、案内・誘導サインの充実について、関係課及び関係機関と検討していく。</p>			

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
取り組み	D ぎふ景観まちづくりファンド事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>金華地区と鶺鴒屋地区における、岐阜市歴史系景観形成方針に適合する歴史的建造物を維持・復元していく工事や、一般建造物を歴史的なまちなみと調和させていく工事、附属工作物を設置して歴史的なまちなみに調和させていく工事、また中山道沿道区域における、歴史的建造物を維持する工事に対し、その工事費を助成した。</p> <p>平成25年度から令和3年度末までの助成物件数について、金華地区においては46件、鶺鴒屋地区においては7件、中山道沿道区域においては2件、その他3件であった。</p> <p>【助成実績】</p> <p>平成25年度－歴史的建造物:2件、一般建造物:1件 平成26年度－歴史的建造物:2件 平成27年度－歴史的建造物:3件、一般建造物:1件 平成28年度－歴史的建造物:3件 平成29年度－歴史的建造物:6件、一般建造物:2件 平成30年度－歴史的建造物:7件、一般建造物:1件 景観重要建造物:2件 令和元年度－歴史的建造物:10件、一般建造物:1件 景観重要建造物:1件 令和2年度－歴史的建造物:3件、一般建造物:1件 景観重要建造物:4件、附属工作物:1件 令和3年度－歴史的建造物:4件、景観重要建造物:3件</p>			
		 <p>歴史的建造物の復元工事の事例 （庇、瓦葺替え、下見板の修繕等）</p>	
<p>② 自己評価</p> <p>金華地区については、ファンドを活用した物件が連続して並ぶ場所もあり、まちなみ景観の向上に寄与している。また、助成を行った物件の周辺で新たな店舗がオープンしたり、一般建造物であっても地域に調和した色調に塗り替えられるなど、地域への波及効果を生み出している。</p> <p>鶺鴒屋地区では、本事業で助成した物件の周辺において、新たなまちづくりの拠点となる店舗がオープンし、本事業が景観形成だけでなく、まちづくりの機運をも高めた好例と考えている。</p> <p>令和3年度でファンド事業は終了したが、令和4年度からは国の社会資本整備総合交付金「街なみ環境整備事業」を活用し、景観重要建造物の維持保存工事に対する助成を開始した。</p>			
外部有識者名	三浦 彩子(名城大学理工学部建築学科 准教授)		
外部評価実施日	令和5年2月16日		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>金華地区においては、この事業による波及効果が十分に発揮されていると評価できる。助成の実績内訳をみると、歴史的建造物・景観重要建造物のほかにも、一般建造物や附属工作物も対象に含まれており、改修費補助が広く市民に認知され、適切な運営がなされていると判断される。改修後の事業内容については、福祉サービスや地域活性化事業、飲食サービスなど多種多用であり、地域活性化に資するまちづくり拠点や、店舗としての活用に対して補助金を交付するという、本制度の特徴がよく表れている。</p> <p>まちづくりの担い手を生むきっかけとなる取り組みであり、今後も、ロケツーリズム推進事業との連携を図るなどして、施設の利活用につなげていただきたい。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>令和4年度より、国の社会資本整備総合交付金「街なみ環境整備事業」を活用し、景観重要建造物の維持保存工事に対する助成を開始した。</p> <p>また、金華地区では地域住民等によって、パブリックマインドを持ったまちづくり会社が設立され、新たに関わる人やまちの担い手らなどと、多様な主体が連携し活性化しつつある。</p> <p>これらのことから、まちの景観を守り、地域資源を活用しまちを継承しつつ、エリアの期待値を向上させていく取組を支援していく。</p>			

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
歴史的風致	1 長良川鵜飼と鵜匠の家にまつわる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用 II 伝統的活動の保存・継承 III 歴史的資産の情報発信 IV 歴史的資産の周辺環境整備		

① 歴史的風致の概要

伝統漁法を今に伝えるぎふ長良川の鵜飼は、1300年以上の歴史を誇る本市の夏の風物詩であり、漆黒の闇に揺れる篝火、静寂に響く舟べりをたたく音や鵜匠の掛け声など、古典絵巻のような幽玄の世界が訪れる人を魅了している。鵜匠の家は、鳥屋や水場など、鵜と共に生きるための様々な工夫が施され、また、川沿いの家々には、玉石積みによる土台の嵩上げ、増水時に閉める陸閘など、堤外地の集落としての独特な景観が形成されている。また、川で行われる祭りや行事には、川に関わる人々の思いや願いが込められており、川と共に生活する人々の営みや景観は、現在も脈々と受け継がれている。

② 維持向上の経緯と成果

●長良川中流域の文化的景観保存調査事業

建造物や技術等の調査により鵜飼屋地区の景観の価値を把握し、国の重要文化的景観に選定されたことにより、地域住民及び市民が、金華山・長良川周辺の景観の価値を再認識するきっかけとなった。

●ぎふ景観まちづくりファンド事業等

鵜飼屋地区は、平成26年度より本事業の対象地区となり、これまで7件に助成した。助成物件の周辺では、まちづくりの拠点となる店舗がオープンし、景観形成だけでなく、まちづくりの機運の醸成に寄与した。

●鵜飼観覧船等の運航事業

市重要無形民俗文化財の船頭の技により、多くの乗船客に、鵜匠の手廻さばき等の技を間近で見物いただき、本市を代表する歴史的資産の魅力を普及することができた。

●岐阜市長良川鵜飼伝承館（長良川うかいミュージアム）事業

子どもから大人まで楽しむことができる展示やイベントを開催するとともに、鵜飼のオフシーズンでも鵜飼が楽しめるように鵜匠による「鵜飼の実演」「鵜飼の説明」を定期的に行い、鵜飼の魅力を発信することができた。

●ふるさと大好き鵜飼事業

全ての市立小学校（主に5年生）を対象に、鵜飼観覧料を助成し、多くの学校で、観覧後にまとめの新聞を作ったりするなど、郷土愛の醸成を図ることができた。

●長良川まつり補助事業

安全祈願のため提灯船の運航等を行う祭り（毎年7月16日開催）を支援することにより、地域の伝統行事の継承に寄与した。

●長良川プロムナード整備事業

長良川沿いの市道について、地道風舗装、石張舗装、ウッドデッキ設置、街路灯及び街路樹整備等を実施（延長650m）し、散策やジョギング、鵜飼観覧を楽しむことができる空間を創出した。整備後の歩行者等の交通量は、概ね増加傾向となっている。



鵜飼観覧船の運航



ふるさと大好き鵜飼事業



長良川プロムナード

③ 自己評価

本市の代表的な歴史的資産及び観光資源である長良川鵜飼について、魅力の発信、郷土愛の醸成、伝統行事の継承、伝統的技術の価値付け、周辺環境の向上に資する事業の実施が、地域住民や関係者の意識高揚につながり、さらに日本遺産の認定の波及効果を生んだと考える。

一方、鵜飼漁を支える船頭や道具製造等の担い手不足は、依然深刻な状況である。

④ 今後の対応

引き続き、長良川鵜飼に関連する事業を推進し、伝統文化の継承や郷土愛の向上に対する意識の醸成を図り、長良川鵜飼文化のユネスコ無形文化遺産代表リスト記載を目指す。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
歴史的風致	2 岐阜まつりと岐阜城下町にまつわる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用 II 伝統的活動の保存・継承 III 歴史的資産の情報発信 IV 歴史的資産の周辺環境整備 V 歴史的風致の周辺環境整備		

① 歴史的風致の概要

戦国時代、斎藤道三公、織田信長公が天下統一の拠点とし城を築いた金華山は、時代を経る中で、登山、景観、歌・絵画等の題材等の新たな価値を積み重ねながら、多様な形で市民や来訪者に享受されるとともに、守り伝えられてきた。また旧岐阜城下町では、戦国時代に由来する町割り等が今も残されており、岐阜町の総氏神である伊奈波神社の「岐阜まつり」は、江戸時代の岐阜町の豊かな町人文化を今に伝えている。このような有形と無形の要素が中世以来受け継がれ、相互に関係しながら、岐阜城と城下町にまつわる歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

- 史跡岐阜城跡発掘活用事業、「信長学」推進プロジェクト
発掘調査の常時公開や説明会の実施、案内所での出土品や居館のCG映像等の展示、イベントの開催などの情報発信により、史跡岐阜城跡の価値の普及啓発に努めたことにより、案内所や岐阜城への来訪者は増加傾向である。
- 史跡岐阜城跡説明板整備事業
史跡の特徴を解説する説明板を延べ38枚整備し、来訪者にその価値を発信するとともに、乱立するサインの整理により、景観の向上を図った。
- 岐阜公園再整備事業
岐阜城の砦等をイメージした遊具広場整備、関ヶ原合戦の伝承が残る御手洗池の修景や園路のバリアフリー化など、様々な来園者の方々に散策を楽しんでいただけの整備を推進した。
- 長良川中流域の文化的景観保存調査事業
建造物や技術等の調査により旧城下町地区の景観の価値を把握し、国の重要な文化的景観に選定されたことにより、地域住民及び市民が、金華山・長良川周辺の景観の価値を再認識するきっかけとなった。
- 岐阜公園三重塔修復整備事業、ぎふ景観まちづくりファンド事業
三重塔の修復整備、景観重要建造物等58件の建造物に対する助成など、歴史的建造物の保全を推進した。助成物件及びその周辺では、新たな飲食店がオープンするなど、地域の活性化にも寄与することができた。
- 無電柱化事業、道路整備事業、ゆとり・やすらぎ道空間事業
歴史的資産を回遊に不可欠な道路の整備を実施し、市民や来訪者が安全かつ快適に歴史的資産の魅力に触れることができる空間を創出した。建造物と調和する道路の整備を実施したことにより、市民意識調査において、約6割の人から「まちなみや景観が美しい」との評価を得ている。
- 歴史的風致活用国際観光支援事業
観光案内所のリニューアル、史跡内のトイレの洋式化など、増加傾向にある外国人観光客を含む来訪者の受入環境整備を推進できた。
- 文化財の調査・指定等
岐阜まつりについて調査を行い、「伊奈波神社の祭礼に伴う岐阜まつり行事」を市の無形民俗文化財に指定し、保護の措置を講じることができた。



発掘調査現地説明会の様子



史跡岐阜城跡説明板



金華山山頂の観光トイレ

③ 自己評価

史跡岐阜城跡を活用した情報発信により、史跡の魅力の普及啓発を推進した。また建造物所有者への助成及び道路整備事業により、本歴史的風致の維持及び向上を図ることができた。
伝統行事である「岐阜まつり」を市の無形民俗文化財に指定したが、地域のコミュニティの希薄化などによる祭りの担い手不足は、依然として深刻な課題である。



岐阜まつり

④ 今後の対応

引き続き、岐阜城跡と旧岐阜城下町における調査及びその魅力の情報発信を実施する。また、歴史的建造物や道路について、適切に維持管理し、本歴史的風致の維持及び向上に努める。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
歴史的風致	3 岐阜提灯・岐阜うちわと川原町の町屋にまつわる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用 II 伝統的活動の保存・継承 III 歴史的資産の情報発信 IV 歴史的資産の周辺環境整備		

① 歴史的風致の概要

江戸時代、長良川には多くの川湊があり、そのうちのひとつである中川原湊では、尾張藩が長良川役所を設置したことにより、水運の拠点として位置づけられるとともに、商業都市「岐阜町」の繁栄を支えた。川原町は、長良川の水運により上流の都市から運ばれ、中川原湊に荷揚げされた和紙や材木などの物資を扱う商家が軒を連ね、それに伴って、上質な美濃和紙や近隣で産出された竹を利用した、提灯やうちわなどを製造する産業が盛んになっていった。

今日でも川原町には、江戸時代から営業を続ける紙問屋や、岐阜うちわの製造販売を続ける商店などが、古いまちなみとともに残っており、川湊周辺の往時の風情を感じることができる。

② 維持向上の経緯と成果

●ぎふ景観まちづくりファンド事業等

これまでに景観重要建造物や歴史的建造物の保全、住宅の修景に対する工事費の助成を58件に対して実施し、歴史的な街なみの維持及び向上を図った。助成物件を活用した店舗がオープンするなど、地域の活性化にも寄与することができた。

●長良川中流域の文化的景観保存調査事業

建造物や技術等の調査により川原町地区の景観の価値を把握し、国の重要文化的景観に選定されたことにより、地域住民及び市民が、金華山・長良川周辺の景観の価値を再認識するきっかけとなった。

●伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業

岐阜提灯協同組合が実施する、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」の認定を受けた振興計画に基づく後継者育成、需要開拓事業等に対し助成し、支援を行った。

●文化財の調査・指定等

岐阜提灯について調査を行い、岐阜市所有の用具類1,004点が「岐阜提灯の製作用具及び製品」として国の登録有形民俗文化財に登録された。



ぎふ景観まちづくりファンドの事例



岐阜提灯の技術研修の様子



岐阜提灯の展示会の様子
(H29.10.1～3)

③ 自己評価

景観重要建造物等の歴史的建造物の保全により、本地区の歴史的風致の向上を図ることができ、また歴史的建造物を活用した店舗が増加するという波及効果が生まれている。

また岐阜提灯については、新たに川原町の町家や近隣の寺院（正法寺）を会場にした展示イベントが開催されるなど、提灯の魅力発信と価値の継承の推進につながった。

④ 今後の対応

景観重要建造物等の歴史的建造物の保全、街路の適切な維持管理を実施し、本歴史的風致の維持及び向上に努める。

伝統的工芸品の岐阜提灯についても、振興事業への支援を継続して実施する。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
歴史的風致	4 加納天神祭り・岐阜和傘と加納城下町にまつわる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用 II 伝統的活動の保存・継承 IV 歴史的資産の周辺環境整備		

① 歴史的風致の概要

関ヶ原の合戦直後に徳川家康の命により築城された加納城の城下町として、また中山道の53番目の宿駅「加納宿」として発展した旧加納町には、城跡や城下町の町割り、中山道などの街道、加納城の守護神としての加納天満宮が継承されており、江戸時代の往時の風情を感じることができる。また、「加納天神祭り」をはじめとする、神社で行われる祭りの賑わいや、岐阜和傘を広げた干場の風景からは、江戸時代から連綿と続く人々の営みを垣間見ることができる。

② 維持向上の経緯と成果

● 景観計画の変更

本市の「自然」「歴史・文化」「都市」が調和した多様で個性ある美しい景観を、かけがえのない資産として未来に引継ぎ、魅力ある景観形成を図るため、平成22年1月より「岐阜市景観計画」を施行している。平成31年3月に計画を変更し、中山道加納宿を中心とした「中山道沿道区域」を景観計画重要区域に追加し、基本的な考え方を示した「中山道沿道まちなみ景観形成ガイドライン」により景観誘導を図ることとした。

● ぎふ景観まちづくりファンド事業等

景観重要建造物等の保全に対する工事費の助成をこれまでに5件に対し実施した。また、景観計画の変更により、「中山道沿道区域」を景観計画重要区域に定めたことに伴い、ぎふ景観まちづくりファンド事業の助成対象エリアとして新たに追加し、歴史的建造物を維持するための工事費を助成することとした。

● 文化財の調査・指定・活用

本歴史的風致に関連する文化財は、加納城跡(国史跡)、加納天満宮の山車(市有形民俗)等があり、山車の修理に対し助成するなど、保存及び活用を継続して実施した。また中山道の普及活動を行う「中山道加納宿文化保存会」に対し、説明板の設置や会報の作成費等、会の運営に対し助成し、本歴史的風致の魅力の啓発を図った。



加納天満宮の山車の修理



中山道修景事業(地道風舗装)

③ 自己評価

岐阜市景観計画における景観計画重要区域に「中山道沿道区域」を追加し、建築行為等を行う場合の基本的な考え方を示した景観形成ガイドラインにより景観誘導を図ることができた。

④ 今後の対応

今後、住民の意向等を踏まえ景観計画重要区域内の良好な景観の形成に関する行為の基準を定めていく予定である。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
歴史的風致	5 手力の火祭りと手力雄神社にまつわる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用 II 伝統的活動の保存・継承		

① 歴史的風致の概要

手力雄神社は、本市の南東部の長森地区に位置し、創建は平安時代の貞観2年(860年)とされる。毎年4月の第2土曜日に行われる「手力の火祭り」は、200年以上前から行われている手力雄神社の例大祭である。氏子達は、神社の境内を舞台とし、長森地区13町の町内ごとに巨大な「御神燈(行灯)」、「滝花火」、「飾り神輿(花火神輿)」を奉納し、豊作や無病息災を祈願する。氏子達にとって祭りは生活の一部であり、祭りを中心に1年が動いている。

歴史ある神社境内を舞台とし、氏子たちが繰り広げる勇壮活発な祭りは、見る者の目を釘付けにし、心を引き込む豪壮な風景をつくり出している。

② 維持向上の経緯と成果

●地域の伝統行事への助成事業

本歴史的風致の伝統行事である手力の火祭りは、地域の活性化及び観光客誘致等にも資することから、祭りを運営している「岐阜市手力火祭実行委員会」に対し、飾り神輿(花火神輿)の作成等経費の一部を助成した。このことにより、歴史ある地域の祭りの継承に寄与することができた。



火祭りの御神燈

●文化財の調査・指定等

本歴史的風致に関連する文化財としては、手力雄神社の火祭りが県の重要無形民俗文化財に指定されており、祭りで使用する立火棚の塗装工事に対する助成、手力雄神社の文化財説明板の修繕など、保存及び普及啓発を推進することができた。

●景観計画の運用

本市では、市域全域(約20,360ha)を景観計画区域としており、景観形成方針、一定規模以上の建築行為等に対する形態意匠、色彩、緑化等をはじめとする行為の制限に関する事項を定めており、手力の火祭りと手力雄神社にまつわる歴史的風致を維持する良好な景観の形成に寄与することができた。



立火棚の修繕



文化財説明板の修繕



手力の火祭り

③ 自己評価

本歴史的風致の中心となる伝統行事であり、かつ本市の重要な歴史的資産である「手力の火祭り」が継続して開催され、伝統文化の継承とともに、地域の活性化や観光客誘致に寄与することができた。

④ 今後の対応

祭りの開催に対する継続的な支援及び文化財の適切な保護を実施し、本歴史的風致の維持向上に努める。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
歴史的風致	6 小紅の渡しと鏡島弘法にまつわる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用 II 伝統的活動の保存・継承		

① 歴史的風致の概要

江戸時代には、軍事及び技術上の理由から重要な渡河地点には橋がなく、街道が河川を横断する地点には渡船場が設けられて、陸上交通を支えた。近代になると、長良川に橋が次々と架けられ、現在残るのは、江戸時代に整備された一日市場と鏡島を結ぶ「小紅の渡し」のみである。

鏡島には、平安時代の創建とされる鏡島弘法(瑞甲山乙津寺)があり、毎月21日の縁日には、参道に露店が出店し、参拝客で賑わう。平常時は、10名程度が利用する小紅の渡しは、縁日には100～200人が乗船する。

小紅の渡しにより鏡島弘法に参拝に向かう人々の様子には、江戸時代から続く古来の道としての風情があり、渡しと人々の生活との深い関わりをうかがうことができる。

② 維持向上の経緯と成果

●小紅の渡しの運航

江戸時代から継承されている小紅の渡しの運航については、小紅渡船船頭組合に委託して実施し、適切に伝統的な活動を継承するとともに、多くの方々に乗船いただき、その魅力を普及啓発することができた。



小紅の渡しの運航

●文化財保存活用地域計画の策定

市域全域の歴史的資産を把握し、7つの関連文化財群としてまとめ、その保存活用のための事業を位置づけた「文化財保存活用地域計画」を策定した。陸運と水運、産業をテーマとする関連文化財群において、小紅の渡しなどの歴史的資産を構成要素に位置づけ、歴史的資産を活用した歴史まちづくり及び観光まちづくりの推進を図ることで、小紅の渡しと鏡島弘法にまつわる歴史的風致の維持に寄与した。



鏡島弘法の縁日の賑わい
(毎月21日)

●景観計画の運用

本市では、市域全域(約20,360ha)を景観計画区域としており、景観形成方針、一定規模以上の建築行為等に対する形態意匠、色彩、緑化等をはじめとする行為の制限に関する事項を定めており、小紅の渡しと鏡島弘法にまつわる歴史的風致を維持する良好な景観の形成に寄与することができた。

③ 自己評価

本歴史的風致の歴史的資産である、小紅の渡しについて適切に維持管理し、伝統的な人々の活動の継承に寄与することができた。また、「文化財保存活用地域計画」の策定により、地域における未指定の歴史的資産を把握し、活用の方針を示した。

④ 今後の対応

小紅の渡しを適切に維持管理し、伝統ある渡船の継承に努める。また、「文化財保存活用地域計画」に基づき、地域の歴史的資産の活用の施策を推進する。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
歴史的風致	7 三輪祭り和三輪神社にまつわる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的資産の調査・保全・活用 II 伝統的活動の保存・継承		

① 歴史的風致の概要

三輪神社は、本市の北東部の三輪地区に位置し、元禄9年(1696)に、現在地に社殿の再建がされている。また、三輪神社の脇を流れる山県用水は鎌倉時代初期に開削され、その管理には、今も三輪神社の氏子達が深く関わっている。

三輪祭りは、毎年4月の第1土・日曜日に行われる三輪神社の例祭であり、その主たる部分をなす「三輪神社稚児山の芸能」では、神社の境内に作られた高台状の舞台上で稚児たちが舞を舞う。祭り当日には、子供、大人の両神輿の掛け声や、笑い声が聞こえ、祭りの賑やかな風景が山県用水の水面に映し出される。

山県用水に潤された水田が広がるのどかな風景と、三輪神社で繰り広げられる賑やかな祭りが、良好な歴史的風致を醸し出している。

② 維持向上の経緯と成果

●文化財の調査・指定等

本歴史的風致に関連する文化財である三輪神社社殿、三輪神社石鳥居(ともに市重要文化財)については、所有者である三輪神社により適切に維持され、また、三輪神社稚児山の芸能(市無形民俗文化財)については、地域住民等により毎年執り行われ、地域の伝統行事が着実に継承されている。

●文化財保存活用地域計画の策定

市域全域の歴史的資産を把握し、7つの関連文化財群としてまとめ、その保存活用のための事業を位置づけた「文化財保存活用地域計画」を策定した。祭りと落語、遊宴文化をテーマとする関連文化財群では、三輪神社と稚児山の祭り文化を構成要素に位置づけ、歴史的資産を活用した歴史まちづくり及び観光まちづくりの推進を図ることで、三輪祭り和三輪神社にまつわる歴史的風致の維持に寄与した。

●景観計画の運用

本市では、市域全域(約20,360ha)を景観計画区域としており、景観形成方針、一定規模以上の建築行為等に対する形態意匠、色彩、緑化等をはじめとする行為の制限に関する事項を定めており、三輪まつりと三輪神社にまつわる歴史的風致を維持する良好な景観の形成に寄与した。



三輪神社



三輪神社と山県用水



稚児山の芸能

③ 自己評価

本歴史的風致の中心的な歴史的資産である、三輪神社及び三輪神社稚児山の芸能について適切に継承されることにより、本歴史的風致の維持を図ることができた。また、「文化財保存活用地域計画」の策定により、地域における未指定の歴史的資産を把握し、活用の方針を示した。

④ 今後の対応

三輪神社及び三輪神社稚児山の芸能について適切に維持管理し、地域の歴史的資産の継承に努める。また、「文化財保存活用地域計画」に基づき、地域の歴史的資産の活用の施策を推進する。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
-------------	-----	---------------	---------

① 庁内組織の体制・変化

計画の推進にあたり、事業担当課及び関係部局が、「岐阜市歴史的風致維持向上計画庁内調整会議」を開催し、各事業及び計画の進捗について情報共有を図った。

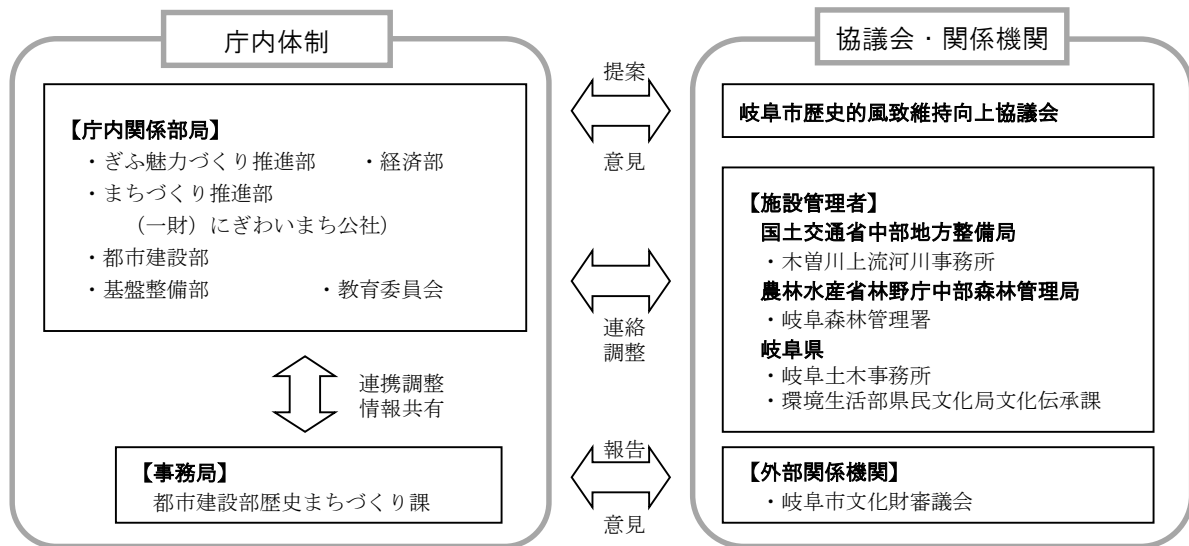
また、有識者、国及び県の関係機関等で組織される「岐阜市歴史的風致維持向上協議会」に報告及び意見聴取を行い、各事業の実施に反映した。



庁内調整会議



歴史的風致維持向上協議会



歴史まちづくり推進のための組織体制

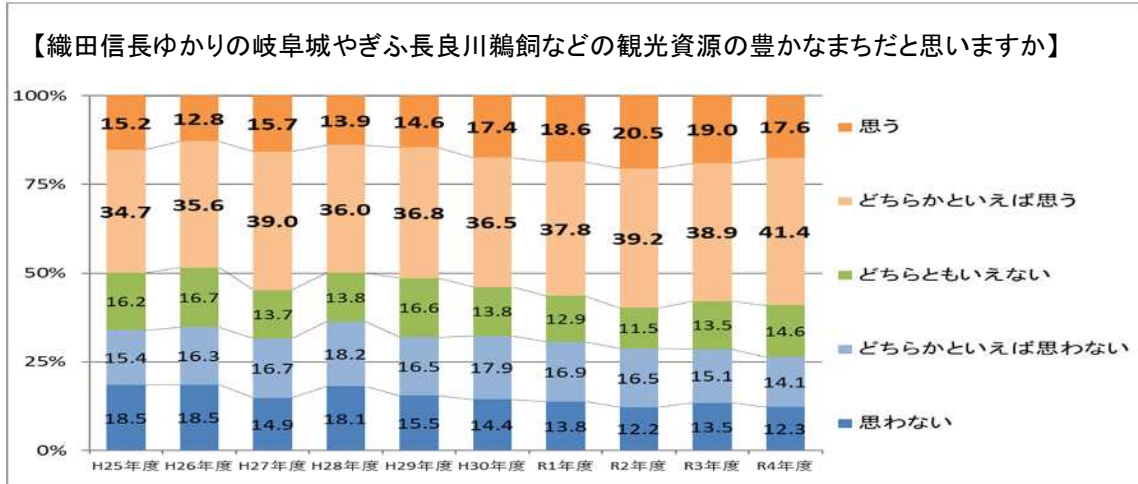
② 庁内の意見・評価

・計画に位置付けられている事業は、歴史的資産を保全し、また活用するものであるため、文化財部局をはじめ、事業担当部署間において密に連絡をとり、更なる連携強化を図りながら、事業を実施していく必要がある。

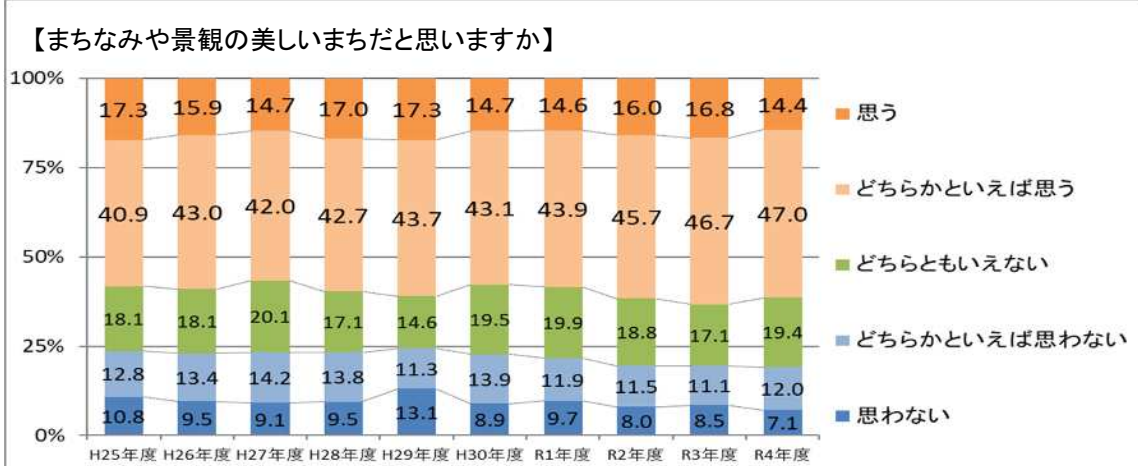
市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
------	-----	--------	---------

① 住民意見

本市のまちづくりの総合的な方針「岐阜市未来のまちづくり構想」に基づき、本市の未来の姿に近づいている度合を表す数値目標等の進捗を測定し、市民の意識や行動等をより多面的に把握することで、今後の各種政策立案等に活用していくことを目的に、市民意識調査を実施している。



「思う」「どちらかといえば思う」と回答した人の割合 平成25年度 49.9% ⇒ 令和4年度 59.0%



「思う」「どちらかといえば思う」と回答した人の割合 平成25年度 58.2% ⇒ 令和4年度 61.4%

「観光資源が豊かなまちだと思う」また「まちなみや景観の美しいまちだと思う」という設問に対し、「思う」及び「どちらかといえば思う」人の割合が増加傾向である。特に令和2年度～令和4年度はコロナ感染の影響を受けているにもかかわらず、高い評価をいただいている。

② 協議会におけるコメント

- ・適正に評価がされている。
- ・成果を表すグラフの表記については、成果とわかる部分（アンケートで「思う」と答えた人の割合等）をグラフの上部にするなどわかりやすく表記されたい。
- ・2期計画事業の実施にあたっては、各事業の目的をしっかりと市民に理解してもらって進めるよう留意してほしい。

市町村名	岐阜市	評価対象年度	H25～R4年
<p>① 全体の課題</p> <p>I 歴史的資産の調査・保存・活用に関すること 本市のそれぞれの歴史的風致において、調査及び価値づけを推進しているものの、依然として地域においてのみ認識・継承されている歴史的資産が多く存在する。また町家などの歴史的建造物について、急速な減少には歯止めがかかったと考えられるが、減少は今も続いている。</p> <p>II 伝統的活動の保存・継承に関すること 長良川鵜飼等の伝統的な人々の営み、岐阜まつり等の伝統行事、岐阜提灯・岐阜うちわ・岐阜和傘等の伝統産業において、職人離れや地域のコミュニティの希薄化による後継者不足の深刻化により、技術や文化の継承が危ぶまれている。</p> <p>III 歴史的資産の情報発信に関すること 史跡岐阜城跡への来訪者、戦国時代に特化したイベントへの参加者、外国人宿泊者数等は増加傾向にあるものの、市民意識調査では、依然として3割程度の方が観光資源の豊かさを感じる事ができていないため、効果的な情報発信が求められる。</p> <p>IV 歴史的資産の周辺環境整備に関すること 史跡岐阜城跡などの認知度の向上により、本市への来訪者が増加傾向にあることから、来訪者が歴史的資産の魅力を楽しみながら回遊できるような空間の創出が求められている。</p> <p>V 歴史的風致の周辺環境整備に関すること それぞれの歴史的風致の維持向上及び継承を図るため、歴史的風致の周辺地区についても、その価値や魅力を補完するような環境整備が求められている。</p>			
<p>② 今後の対応</p> <p>I 歴史的資産の調査・保存・活用に関すること 令和2年度に策定した「岐阜市文化財保存活用地域計画」に基づき、歴史的資産の調査などによって地域の歴史的資産の把握に努め、文化財指定等による保存・活用を図る。 歴史的建造物の保全について、景観重要建造物の保全に対する支援を継続し、歴史的なまちなみの維持及び向上を図る。</p> <p>II 伝統的活動の保存・継承に関すること 歴史的資産の調査・記録保存を継続して実施し、保護の措置を講じる。また、関係団体が実施する後継者育成事業に対する助成を継続し、技術や文化の継承に努める。</p> <p>III 歴史的資産の情報発信に関すること 公式ホームページや各種SNSを活用し、本市の歴史的資産の効果的な認知度向上に努める。史跡岐阜城跡における発掘調査現場の公開、うかいミュージアムでの展示、歴史講座などのイベントの開催を継続して実施し、その価値や魅力の普及啓発を推進する。</p> <p>IV 歴史的資産の周辺環境整備に関すること これまでに各歴史的風致において実施した無電柱化推進事業、道路整備事業等により整備した道路を適正に維持管理する。また、水辺環境整備など新たな周辺環境整備に取り組む。</p> <p>V 歴史的風致の周辺環境整備に関すること 外国人観光客を含めた来訪者が快適に本市の歴史的風致を回遊できるよう、観光案内所や案内・誘導看板等の整備・保全に努める。また、御鯨街道等の歴史的風致をつなぐ役割を持つ道路空間については、引き続き適正に維持管理を行う。</p>			